

福岡県

防災講演会開催報告
～シニア災害ボランティアセミナー～

平成30年9月3日（月）、福岡センタービルにて福岡県と当協会主催による「福岡県防災講演会～シニア災害ボランティアセミナー～」が開催されました。冒頭に主催者を

代表して、福岡県総務部防災危機管理局の奥園局長と当協会の吉田理事長が挨拶し、続いて福岡管区気象台長 弟子丸 卓也氏による「激甚化する気象災害から身を守るために」と題しての講演と、特定非営利活動法人全国災害ボランティア支援団体ネットワークの鈴木 淳子氏による「災害時の三者連携（行政・災害VC、NPO等）とJVOADの役割」と題した講演が行われました。

講演 1
13:40～14:40激甚化する気象災害から
身を守るために

福岡管区気象台長 弟子丸 卓也氏
過去に発生した豪雨災害の実態を分析・解説する一方で、動画による土砂災害等の恐ろしさをビジュアルに伝えられた。

また気象庁が配信している防災気象情報について紹介するとともに、実際に災害に至る場面では避難を判断するタイミングは難しく、気象情報を活かすために日頃からお年寄りや子どもも含めた地域の方々のコミュニケーションが大事であると強調した講演を頂いた。



弟子丸 卓也 氏

気象庁予報部においてスーパーコンピュータを用いた数値予報技術の高度化を図る一方、特別警報の実施など防災気象情報の改革に大胆に取り組んできた。気象庁予報課長、気象庁参事官を経て平成29年より現職。

講演 2
14:50～15:50

災害時の三者連携（行政・災害VC、NPO等）とJVOADの役割

特定非営利活動法人全国災害ボランティア支援団体ネットワーク（JVOAD）鈴木 淳子氏
災害時の三者（行政・災害VC、NPO）の役割とその特徴について説明された。三者がばらばらに活動する事によって起きる問題と、それを解消するための三者連携の重要性について具体例を挙げながら説明された。またシーズ（支援）とニーズ（困りごと）のマッチングを図っていくためにも、丁寧な情報収集及びそのための情報提供も重要であるとの説明をされた。



鈴木 淳子 氏

商社で10年間営業職を経験後、平成16年NGOに転職。平成29年に九州北部豪雨災害対応に従事したことをきっかけに、平成30年3月より全国災害ボランティア支援団体ネットワークに入職し、地域連携を担当。